

# DA Black Hole

電話回線解析ソフトウェア DA ブラックホール

## クイックガイド

お買い上げいただきありがとうございます。

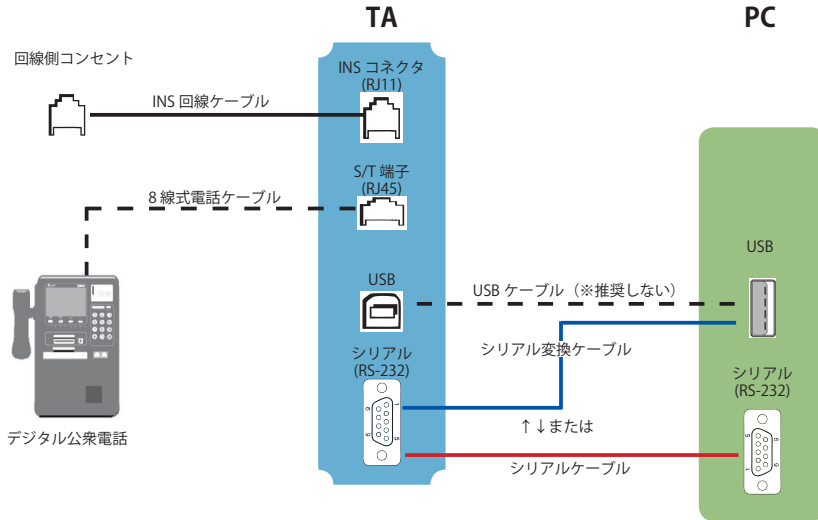


## STEP1 準備

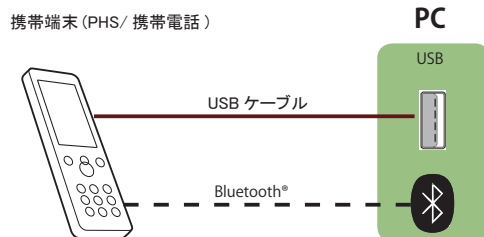
### 通信機器の接続

解析で使用する通信機器 (ISDN ターミナルアダプタ / モバイル端末) を PC に接続してください。ドライバが必要な場合は、あらかじめインストールしてください。

### 固定回線での利用 (NTT INS64/ISDN 公衆電話)

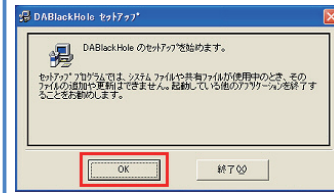


### モバイル回線での利用

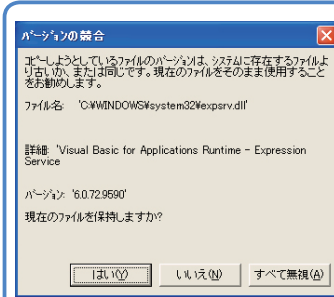


## STEP2 インストール・起動

### インストール CD-ROM をパソコンにセットします

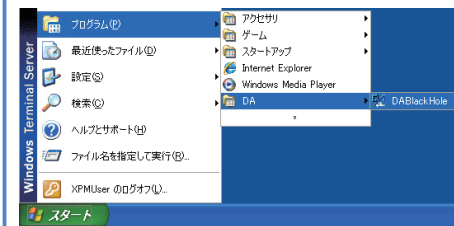


他のソフトウェアが起動していないか確かめ、必要に応じて終了させてください。インストール CD-ROM をパソコンにセットしてインストーラを起動し、用意が整ったら [OK] で、インストールを開始してください。



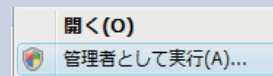
お使いのパソコン環境によってはファイルの競合 (バージョンの競合) が表示されます。これらは、通常は [はい] で進行させます。

### 起動します



[スタート] → [プログラム] より DA ブラックホールを起動します。

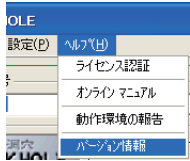
※管理者権限のない XP ユーザーは (右クリック) → 別のユーザーとして実行 (A) を選択し管理者権限で起動してください。



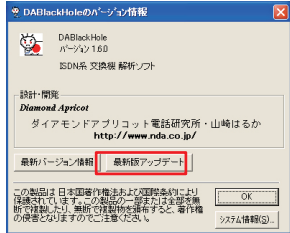
※ Windows Vista では、スタートメニューで DA ブラックホールを (右クリック) → [管理者として実行] と選択して起動してください。

## STEP3 最新版アップデート

DA ブラックホールを最新版にします



DA ブラックホールを起動した状態から、ヘルプ (H) →バージョン情報をクリックします。



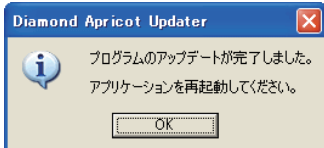
【最新版アップデート】を押します。



インターネット経由でファイルのダウンロードがはじまります。



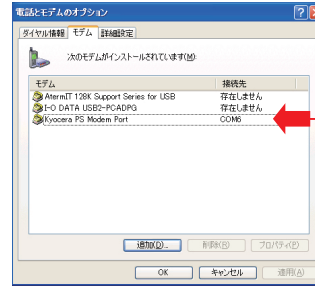
再起動します



ダウンロードが終了したら、[スタート]→[プログラム]→DA ブラックホールを選択してDA ブラックホールを起動します。

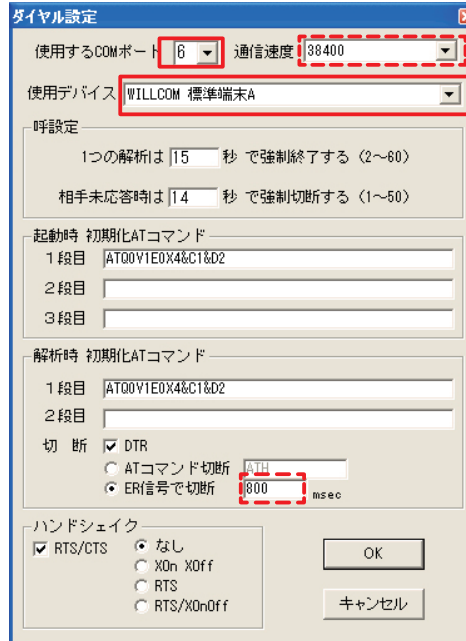
## STEP4 設定

通信機器のCOMポートを確認します



OSのコントロールパネル → 「電話とモデムのオプション」でモデムタブを開き通信機器のCOMポートを確認してください。

COMポートを設定します



確認したCOMポートを、DAブラックホールのダイヤル設定に適用します。

設定は大きく2カ所です

- 1.COMポート番号を選択する
  - 2.使用TA(通信機器)を選択する
- ※左図の  の部分です。

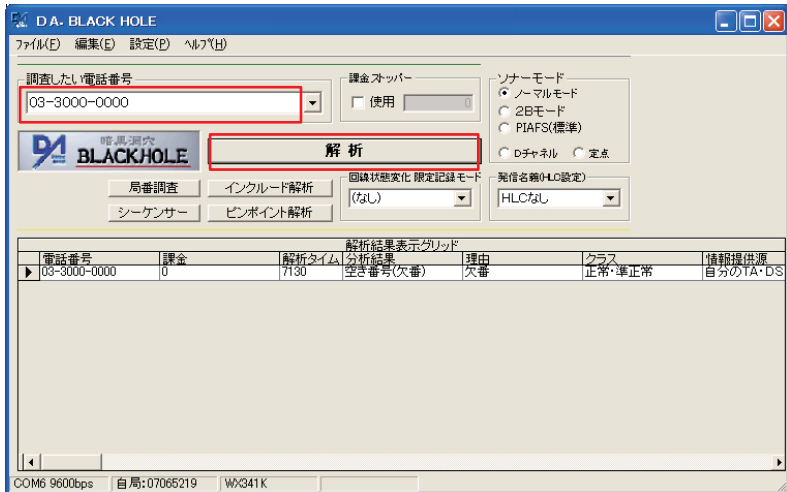
なお初期設定値のままでは連続解析において調査元エラーを生じる交換機があります。その場合は、通信速度は38400bps ERで切断は800msecに調整してください。

※左図の  の部分です。

# STEP5 解析

## 基本操作

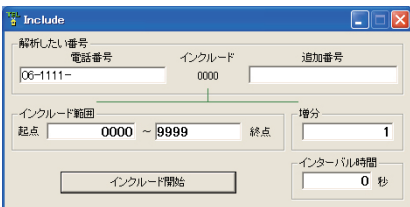
調査したい電話番号を入力し、解析ボタンを押すと、結果がグリッドに表示されます。



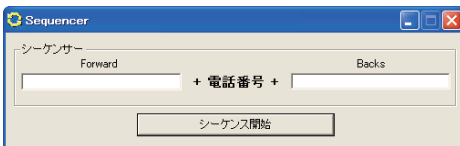
## 連続解析

・インクルード機能

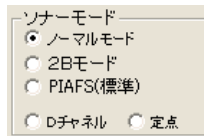
番号の範囲や、テキストデータを指定して連続解析を行う「インクルード」「シーケンサー」機能があります。



・シーケンサー

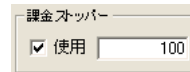


## ソナーモード



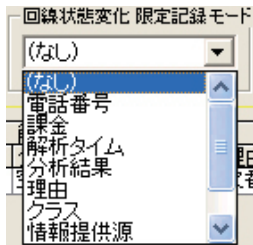
解析時の通信モード・プロトコルを変更することができます。設定できるモードは解析で使用される通信機器によって異なります。

## 課金ストッパー



一定の課金額に達すると連続解析を中断します。※通信サービスの種類によっては課金信号を検出しませんのでご注意ください

## 回線状態変化 限定記録モード



連続解析中、直前の解析結果と異なる結果が得られた場合のみ結果を表示します。ドロップダウンリストで、監視対象とするフィールドを選択します。

※既定値は「(なし)」です

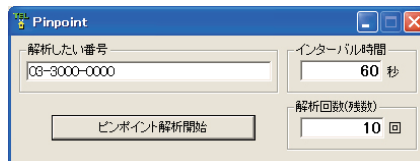
## 発信名義



解析時のHLC設定を指定することができます。

※既定値は「HLCなし」です

## ピンポイント連続解析



同一の番号を連続的に解析するには「ピンポイント」機能が便利です。

## 使用上のご注意

- ・DA ブラックホールは情報をありのまま表示し、分析の技術・解析結果の判断はユーザー側に責任が帰属します。弊社はユーザーの使用技術・目的について 関知いたしません。
- ・回線解析結果を、第三者に開示・販売することは、法令に抵触したり他者の知的財産権を侵害することがあります。
- ・DA ブラックホールは非制限デジタル方式による発信により原則・無課金ですが、解析する相手によっては課金接続したり、設定によっては接続したままになることがあります。ソフトウェアの動作時はユーザーによる監視を怠らず、異常動作をした場合はただちに動作を停止してください。

## 取扱説明書

取扱説明書はWeb上に配置した「オンラインマニュアル」として提供しています。  
ソフトウェア本体またはブラウザでご覧になることができます。



- ・オンラインマニュアル URL  
<http://www.nda.co.jp/help/dabh/>

## お問合せ・ご質問

<http://www.nda.co.jp/help/>

- カスタマーサービス（ユーザー登録・各種手続）  
<https://customer.nda.jp>